

## 2. (仮称) 西部地域複合施設における文化拠点の基本的な考え方

### (1) 文化拠点を構成する3つの施設(機能)

(仮称) 西部地域複合施設(以下、「複合施設」)における文化拠点は、以下の3つの機能を担う施設とする。

#### ■ (仮称) 芸術文化資料館(ミュージアム系機能)

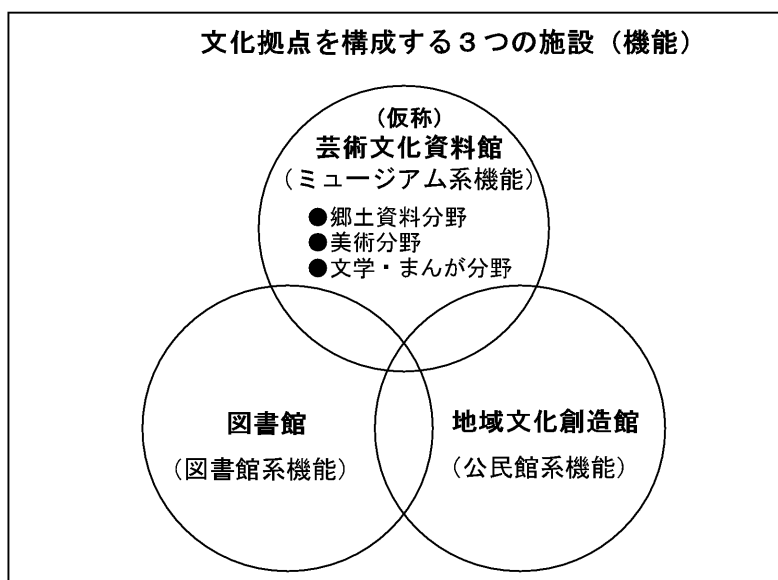
郷土資料分野、美術分野、文学・まんが分野の3分野にわたる、資料収集・保存、調査・研究、展示、教育普及の機能を果たすミュージアムとする。

#### ■ 図書館(図書館系機能)

現在の千早図書館の活動を継承し、地域に根ざした特色あるテーマに関連する図書資料を収集する。また、友の会活動などの区民活動を支援し、地域に開かれた図書館とする。

#### ■ 地域文化創造館(公民館系機能)

地域の身近な生涯学習拠点として、文化・学習活動の場を提供し、区民・グループ間の情報交換・発信・交流を促進する。また、特別室(音楽室・美術室・陶芸窯室等)の機能を高めるとともに、旧平和小学校の既存体育館を生涯スポーツ活動の場として活用する。



## (2) 文化拠点の理念・目指すべき姿

### ① 理念

「連携」と「融合」のもとに、区民とともに新しい文化価値を創造する。

### ② 目指すべき姿

以下の3つの姿を実現することを目指す。

#### ●新しい地域文化のインキュベーター（注1）装置としての文化拠点— 地域文化の創造

豊島区の歴史・文化に関する調査・研究の蓄積を基盤として、より豊かな未来に向け、地域の新しい文化を育み、発信するためのさまざまな活動を、区民の交流を通して展開する文化拠点施設を目指す。

#### ●地域文化の情報センターとしての文化拠点— 文化資源の収集・公開・発信

地域の歴史・文化に係る学習資源・研究素材を、実物資料や二次資料（模型、複製資料、図表、調査・研究資料、文献含む）など、さまざまな形態で集約・体系化し、多様なニーズに対応できる地域の情報センターとしての文化拠点施設を目指す。

#### ●区民が生き生きと活動する舞台としての文化拠点— 区民の文化活動支援

多様な層のさまざまな活動に対応できる活動環境を整備し、区民の活発な文化活動や生涯学習の舞台となる文化拠点施設を目指す。区民の文化活動を側面から支援することにより活動成果が地域社会に還元される循環の仕組みづくりにも留意する。

### ③ 「連携」と「融合」の考え方

以下の4つの視点で、「連携」と「融合」のもと、単独では生み出すことのできない新しい試みや文化価値の創造を目指す。

#### 視点1 文化拠点3施設の「連携」と「融合」

複合施設の文化拠点として、（仮称）芸術文化資料館・図書館・地域文化創造館が有機的に連携しながら事業活動を展開し、区民の文化活動や生涯学習を推進するとともに、各施設の利用者相互の交流を図る。

また、地域の歴史・文化に関する情報センターとして、3施設相互の情報の共有化と一元的な情報提供を図る。

**視点2** （仮称）芸術文化資料館を構成する3分野（郷土資料分野、美術分野、文学・まんが分野）の「連携」と「融合」

地域の歴史・文化を後世に継承していく施設として、郷土資料分野、美術分野、文学・まんが分野が一体的に事業活動を展開し、資料・情報（データベース等）の共有化により効率的で発展的な資料収集・保存、調査・研究を行い、充実した展示、教育普及活動等を推進する。

**視点3** 複合施設内の他の施設との「連携」と「融合」

複合施設に整備する他の施設と有機的に結びつきながら事業活動を行う仕組みを整備し、各施設の利用者相互の交流の推進と、施設（研修室や会議室等）の相互利用を図る等、効率的な施設運営を行う。

**視点4** 区民・関連諸機関との「連携」

区民や区民活動団体と連携し、事業への区民参加の環を広げ、地域に密着した事業を展開する。

また、教育機関（小・中学校、高等学校、大学等）や区内外の社会教育施設、文化施設等とのネットワークを構築し、資料や情報、研究成果の相互活用を図るとともに、連携事業等を展開し、広がりのある事業活動を推進する。

注1：「孵卵器」「保育器」の意味。ここでは新しい文化を育み、発信することを指す。